

令和5年度 学校評価報告書

都農町立都農中学校

重点目標(1)「自律」に関すること

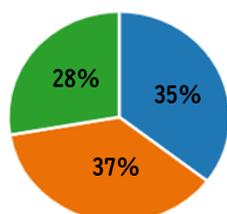
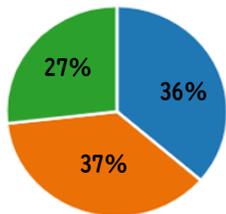
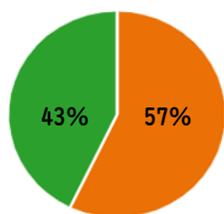
● そう思う ● どちらかというと思う ● どちらかというと思わない ● そう思わない

1. 生徒は、自分で考え判断し、責任を持った行動ができる。

【教職員】

【生徒】

【保護者】



(考察)

生徒・保護者は、肯定的な回答が70%以上、教職員も、肯定的な回答が52%を超えており、概ね良好と考える。

(学校運営協議会委員のコメント)

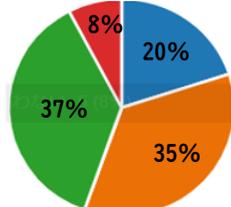
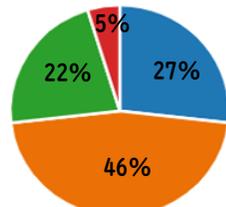
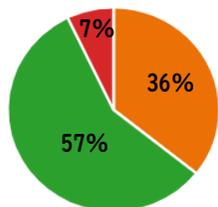
- ・良い結果だと思う。
- ・それぞれが「自律」の文字をどう捉えているのかが不明ですが、経年変化が見られると評価もしやすいと思います。

2. 生徒は、夢や目標をもって学習に取り組んでいる。

【教職員】

【生徒】

【保護者】



(考察)

生徒は、肯定的な回答が73%を占めるが、教職員は36%、保護者は56%である。両者の差は、学習に対する努力の部分ではないかと考えられる。

(学校運営協議会委員のコメント)

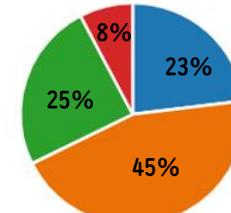
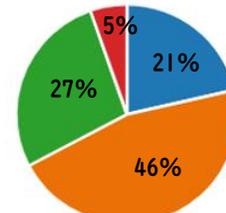
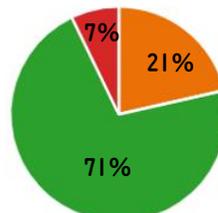
- ・生徒が思っている程、教職員や保護者には、その姿勢が感じられていないと思う。
- ・教職員の否定的な回答(64%)はかなり問題では。生徒に夢や目標を持たせられていない自戒の念であればまだよいが、そうでないとするればそもそも教育スタンスを疑ってしまう。
- ・家庭内での会話はどのくらいあるのか。
- ・家庭では夢や目標を語っており、それに向かって学習しているということであれば、学校でもそれを語れるようになると両者の差が縮まるのではないのでしょうか。

3. 生徒は、単元テストや定期テストに計画的に取り組んでいる。

【教職員】

【生徒】

【保護者】



(考察)

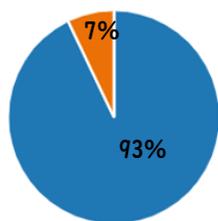
生徒・保護者は、肯定的な回答が60%を越えているが、教職員は、肯定的な回答が21%である。この差には、テストに対する学習時間やその結果について教職員の方が厳しくとらえていると考えられる。

(学校運営協議会委員のコメント)

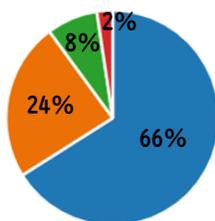
- ・教職員の肯定的な回答が少ないということは、やはり計画的に取り組んでいるとは言えない状況だと思う。
- ・学校と家庭の認識のズレが大きくてびっくりする。
- ・2.と同様に、指導方法の改善につなげたい趣旨であると思いたいが・・・。
- ・学校と家庭で大きな差があります。それぞれ何を尺度に評価しているのかが気になります。

4. 都農中の合言葉「自律」を知っている。

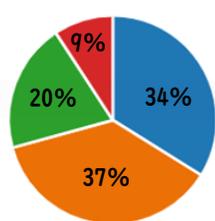
【教職員】



【生徒】



【保護者】



(考察)

教職員は100%、生徒は90%で浸透しているが、保護者は71%の認知度である。

(学校運営協議会委員のコメント)

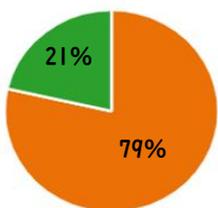
- ・学校で浸透しているのは、先生方の力が大きいと思う。
- ・良い。

重点目標(2)「尊重」に関すること

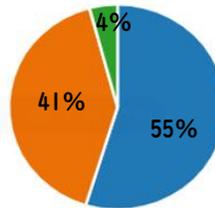
● そう思う ● どちらかというと思う ● どちらかというと思わない ● そう思わない

1. 生徒は、相手の気持ちや考えを大切にすることができる。

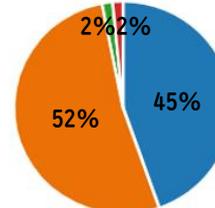
【教職員】



【生徒】



【保護者】



(考察)

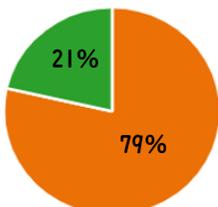
生徒・保護者は、肯定的な回答が95%以上を越えている。教職員も79%が肯定的な回答である。

(学校運営協議会委員のコメント)

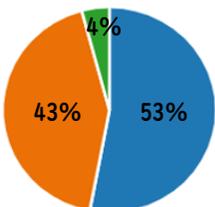
- ・否定的な意見が減っていくといいと思う。
- ・共同の作業、清掃、文化祭。
- ・良い結果ですね。グループ対話や部活も含めて他者との協働を学んでほしいです。

2. 生徒は、自分と異なる考え方や価値観を認め、対話し受け入れることができる。

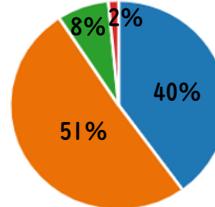
【教職員】



【生徒】



【保護者】



(考察)

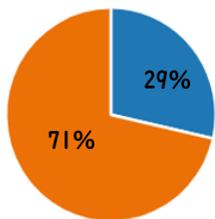
教職員79%、生徒96%、保護者91%が多様な価値観を許容することが大切と考えている。

(学校運営協議会委員のコメント)

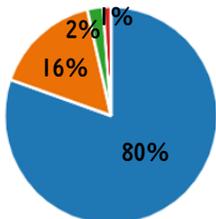
- ・否定的な意見が減っていくといいと思う。
- ・クラス対抗、スポーツが有効ではないでしょうか。

3. 生徒は、「いじめ」はどんな理由があってもいけないことだと思っている。

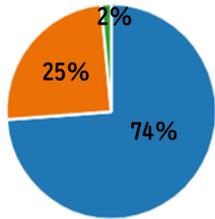
【教職員】



【生徒】



【保護者】



(考察)

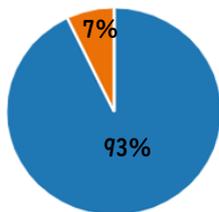
生徒がいじめはどんな理由があっても許されない考えの割合は、96%で、4%の生徒はそのような認識ではない。保護者も2%が否定的な回答である。

(学校運営協議会委員のコメント)

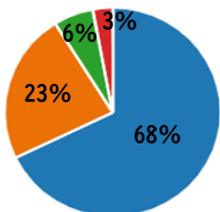
- ・否定的な回答があることに驚きでした。
- ・「いじめ=相手に精神的、身体的な苦痛を与える行為」のこと。「そう思う」以外の回答をした方の意見を聞いてみたい。「どちらかというと思う」でも、あまり良くないのではないのでしょうか。
- ・否定的な理由が知りたい。
- ・むずかしい問題でしょうが、生徒自身で解決ができない場合は、適時大人の介入が必要と思います。

4. 都農中の合言葉「尊重」を知っている。

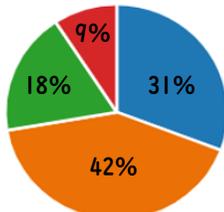
【教職員】



【生徒】



【保護者】



(考察)

教職員は100%、生徒は91%であるが、保護者は73%の認知度である。

(学校運営協議会委員のコメント)

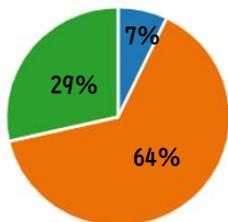
- ・学校で認知度が高いのは、先生方の努力だと思う。
- ・良い。
- ・学校側が発信の場を持って、関心を持たない家庭があるのも実情かと思います。小学校、さらに保育園まで子育てや教育に対する保護者への訴求が必要かと。

重点目標(3)「体力」・「健康管理」・「防災」に関すること

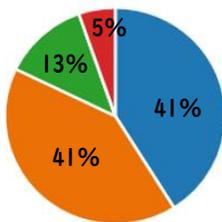
● そう思う ● どちらかというと思う ● どちらかというと思わない ● そう思わない

1. 生徒は、体力向上に努めている。

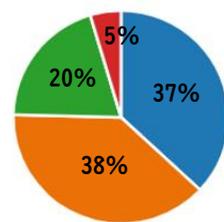
【教職員】



【生徒】



【保護者】



(考察)

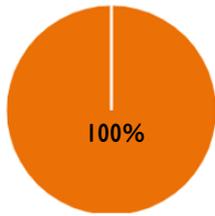
教職員・生徒・保護者いずれも、肯定的な回答が70%以上を占めるが、保護者の25%は体力向上が図られていないと感じている。

(学校運営協議会委員のコメント)

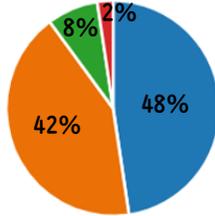
- ・部活動や校外活動、文化系活動で体力を使っていない生徒もいるからでしょうか。
- ・休日の過ごし方が図られていないと思っている？屋外で遊べる所が少ないのも原因になっている？
- ・家庭での食事、睡眠はどれくらい？
- ・体育の授業で、日常的な運動と健康との関係性や楽しさを伝えられると良いと思います。

2. 生徒は、新型コロナウイルス等の感染症に対する知識や予防意識をもっている。

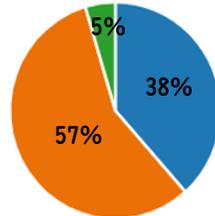
【教職員】



【生徒】



【保護者】



(考察)

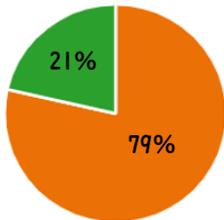
生徒・保護者いずれも、肯定的な回答が90%以上を越えており、全体的に見ても、感染症に対する知識や予防意識を持っている。

(学校運営協議会委員のコメント)

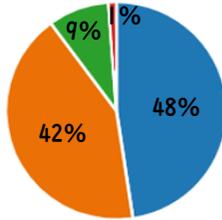
- ・コロナ禍が長い間続いたことで、認知度が高いと思う。
- ・三者とも良い結果である。

3. 生徒は、災害や防災に関心をもっている。

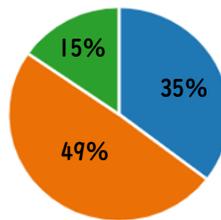
【教職員】



【生徒】



【保護者】



(考察)

教職員・生徒・保護者は肯定的な回答が80%近くで、防災への関心が高まっていると感じている。

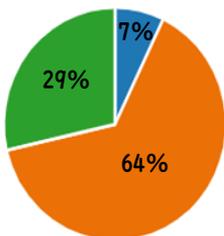
(学校運営協議会委員のコメント)

- ・近年、日本で災害が多くなっているため、関心が高まっていると思う。
- ・テレビ等で見ている、いまいち現実味がなく感じてしまうのも分らないが、実際災害が起こった時にしっかり対応できるよう訓練等をやってほしいと思う。
- ・さらに関心を。
- ・能登半島地震で明らかになった課題や復興の進め方などリアルに共有できると有意義ですね。

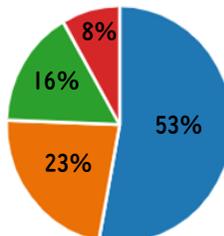
重点目標(4)「貢献」に関すること

1. 生徒は、将来の夢や就きたい職業(仕事)がある。※仕事は複数でも可

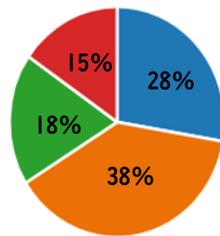
【教職員】



【生徒】



【保護者】



(考察)

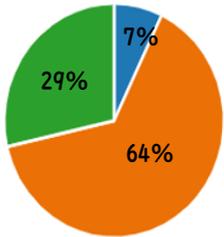
生徒は、肯定的な回答が76%だが、教職員、保護者は30%近くが将来の夢や職業については否定的な回答である。その理由としては、将来の進路がはっきり答えられない生徒が多いことが考えられる。

(学校運営協議会委員のコメント)

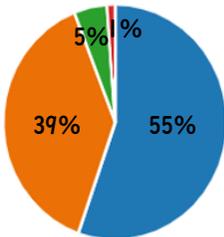
- ・やはり、進路を考えるのは、高校受験を考える時から始まるのかもしれないと思いました。
- ・中学生の時点で、将来の夢や職業が決まっても何ら不思議ではないと思う。
- ・単純に生徒から聞き出す力や日頃の信頼関係が低いだけではと思えました。
- ・職業の種類は？
- ・「自律」の設問2で答えた通り、まずは夢を学校では話していないのでは？と思われます。詳しく分析しないと分かりませんが、どのような職業があるかの数のついてまだまだ少ないのでは？と思われます。

2. 生徒は、クラスや学校のために、自分ができていることを考えて行動できる。

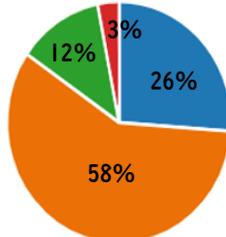
【教職員】



【生徒】



【保護者】



(考察)

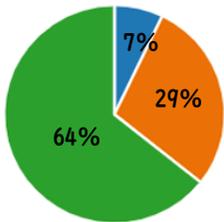
生徒・保護者いずれも、肯定的な回答が80%以上を占めるが、教職員は、日常の生徒の行動から判断し、29%は「あまりそう思わない」と回答している。また、令和4年度との比較でも、今年度も生徒の評価が2年続けて90%を超えている。

(学校運営協議会委員のコメント)

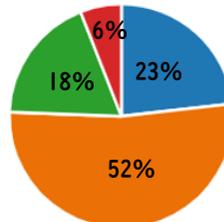
- ・生徒によって、「そう思わない」と感じさせる行動があるのだと思います。
- ・教職員の「あまりそう思わない」は、もっとできることがあると思っていることだろうか。だとしたら、それを何らかの形で示せるといいと思う。
- ・これだけ差があるのは明らかに大問題なのではないか。第三者を入れてしっかり認識合わせした方が良いと思います。
- ・本設問については、学校側と生徒の意識の差が大きいです。まずは自地域を学校を誇りに感じる事が大切だと思います。

3. 生徒は、現在及び将来「都農」のために役立つことをしたいと思う。

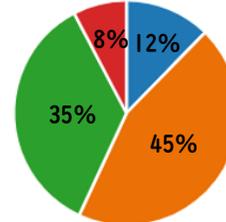
【教職員】



【生徒】



【保護者】



(考察)

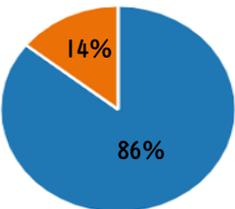
生徒は、肯定的な回答が75%だが、保護者は57%、教職員は36%が肯定的な回答をしている。

(学校運営協議会委員のコメント)

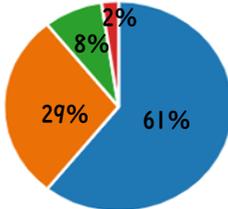
- ・生徒の75%の肯定的な回答は、希望を感じます。
- ・「そう思わない」と答える教職員の根拠を聞いてみたい。
- ・将来の夢や仕事(目標)と同じ。
- ・経年の経過が見えると打ち手が見えてくるのではと。都農町の現状をもっと見せていく必要があると思います。

4. 都農中の合言葉「貢献」を知っている。

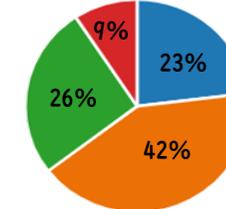
【教職員】



【生徒】



【保護者】



(考察)

・教職員は100%、生徒は90%であるが、保護者は65%の認知度である。

(学校運営協議会委員のコメント)

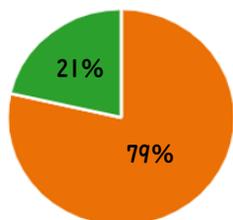
- ・教職員・生徒の認知は良い。

重点目標(5)「健康・安全」に関すること

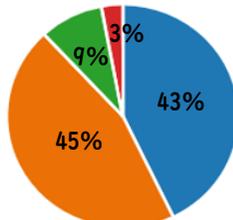
● そう思う ● どちらかというと思う ● どちらかというと思わない ● そう思わない

1. 生徒は、バランスの良い食事を摂っている。

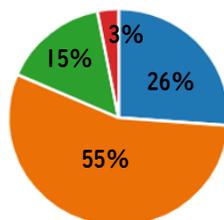
【教職員】



【生徒】



【保護者】



(考察)

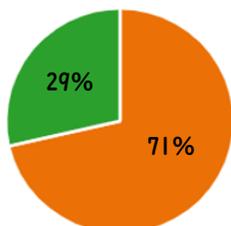
教職員・生徒・保護者いずれも、肯定的な回答が70%以上を占めており、おおむね良好な食事バランスと思われる。

(学校運営協議会委員のコメント)

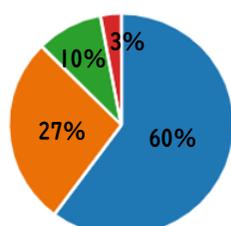
・良い結果ですばらしいと思います。

2. 生徒は、おし歯や眼などの治療がしっかりできている。

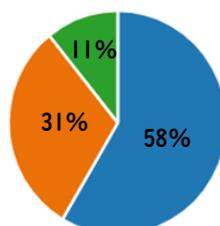
【教職員】



【生徒】



【保護者】



(考察)

生徒・保護者いずれも、「そう思う」が50%以上を占めるが、教職員は0%である。教職員は、治療率の実態が約50%であることを踏まえ回答していることがわかる。

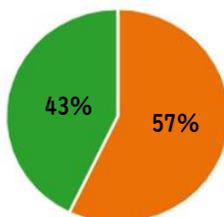
(学校運営協議会委員のコメント)

・治療率の実態が50%は、以外に低いと思いました。

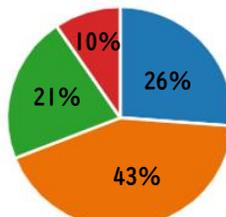
・治療が50%なのに、保護者の回答が89%になっているところが気になる。

3. 生徒は、早寝早起きの習慣ができている。

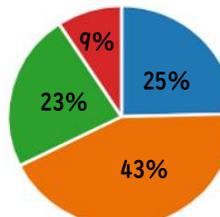
【教職員】



【生徒】



【保護者】



(考察)

生徒・保護者いずれも、「そう思う」が25%近く、「どちらかというと思う」が40%以上だが、教職員には家庭の様子が把握できないので、朝の登校状況の様子で判断しているようである。

(学校運営協議会委員のコメント)

・これは、家庭での習慣づけが大事だと思います。

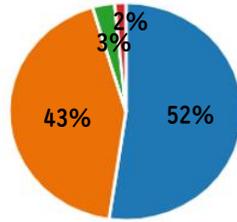
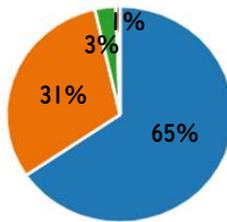
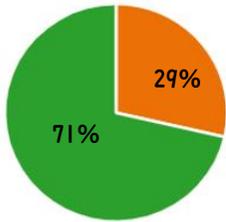
・生徒と保護者の実情があるとわかりやすい。

4. 生徒は、交通ルールを守り、交通安全に心がけている。

【教職員】

【生徒】

【保護者】



(考察)

生徒・保護者いずれも、肯定的な回答が95%以上だが、教職員は29%である。地域からの苦情や登下校の様子を見ると、教職員は地域内で交通マナーはよくないと感じている。

(学校運営協議会委員のコメント)

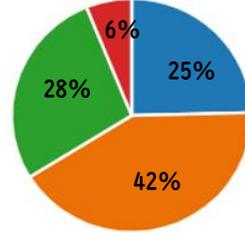
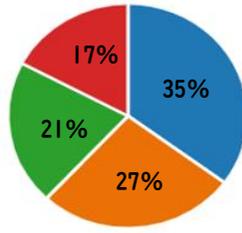
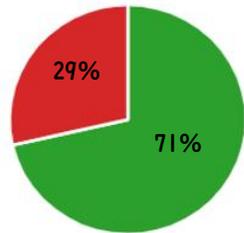
- ・登下校の様子はあまり見ないので、苦情があるということはあまりよくないでしょう。
- ・一部の生徒の交通マナーは気になっている。
- ・苦情や登下校の様子が分からないと考察はむずかしいが、そもそも交通ルールが守りにくいインフラの現状では?の観点も必要かと。

5. 生徒は、スマートフォンなどの使用について親子でルールを決めて使っている。

【教職員】

【生徒】

【保護者】



(考察)

生徒は62%が、保護者は67%が親子でルールを決めて使用していると回答しているが、教職員は、生徒の様子からネット依存や昼夜逆転現象、SNSのトラブルや事件を心配している。

(学校運営協議会委員のコメント)

- ・家庭で取り組んでいかないといけないと思いました。
- ・ルールを決めていても、守られているかは別問題ということか。
- ・渦に巻き込まれることが心配。
- ・デジタル技術が急速に発展している中、もはやデジタルを利用しないというのはむずかしい。健康への影響やSMSトラブルについては、家庭(親)への啓発が必要かと思えます。

「当事者意識」に関すること

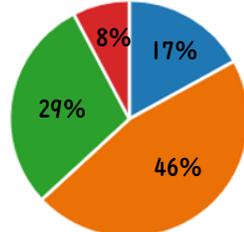
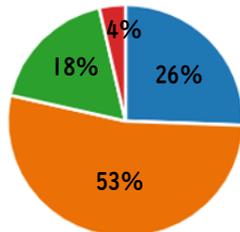
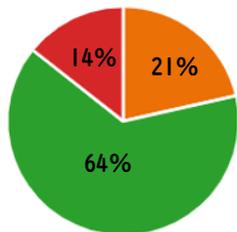
● そう思う ● どちらかというと思う ● どちらかというと思わない ● そう思わない

1. 生徒は、自分を責任ある社会の一員だと思っている。

【教職員】

【生徒】

【保護者】



(考察)

生徒は79%が、保護者は63%が肯定的な回答をしているが、教職員の78%が否定的である。

(学校運営協議会委員のコメント)

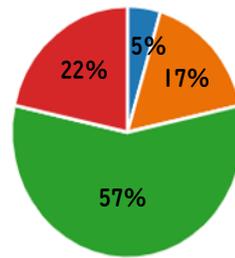
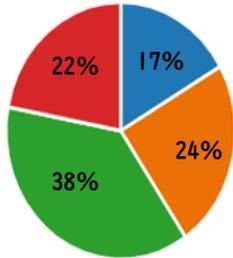
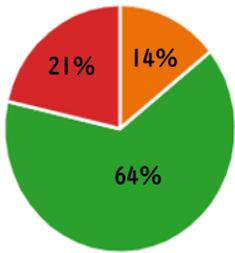
- ・生徒は、肯定的な回答が多いですが、個人的には、そこまでの認識はないように思われます。
- ・教職員が求める“社会の一員”が、どのようなものが伝わっていないのか。
- ・このデータだけでは推察はできないが、明らかに教職員が生徒を子ども扱いしたり、偏見をもって接していると思えず、誠に残念。
- ・世界的・全国的な課題の共有とそれに立ち向かう若い人材を適時紹介していくこと、またその課題解決を考えていくといった探求が必要と思えます。

2. 生徒は、自分で国や社会を変えられると思っている。

【教職員】

【生徒】

【保護者】



(考察)

教職員は85%が否定的な回答で、将来の国や社会を担う人材育成が積極的に行われているとは言えない状況である。保護者の見解も79%が否定的な回答で、生徒たちをとりまく環境に要因があり、大人の方が否定的な回答をしている。日本財団が2019年に実施した「18歳意識調査」と比較すると肯定的な回答が18%に対し、本校生徒は41%と非常に高いことが分かり、国や社会を変えられると思っていることがわかる。

(学校運営協議会委員のコメント)

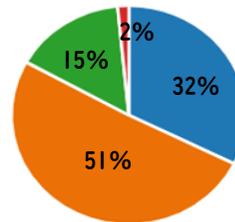
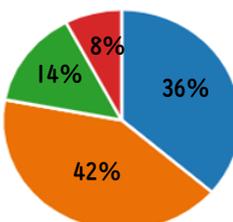
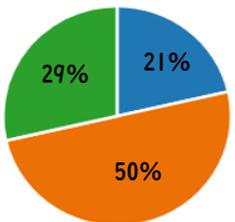
- ・自分で変えられると思っていることは、とても良いと思います。
- ・まわりの大人によって、若者の考えが狭くならないようにしたいですね。
- ・自分が生徒だったら、この学校には行きたくないし、自分が親なら絶対通わせないと思ってしまう結果ですね。「自律」って何ですか？学校側は真摯に受けとめてほしい。
- ・子どもたちの意識は素晴らしいですね。町の大人たちにも知ってもらい、実際に話す場ができるとう良いですね。

3. 生徒は、自分には長所があると思っている。

【教職員】

【生徒】

【保護者】



(考察)

教職員・生徒・保護者いずれも、肯定的な回答が70%以上を占めており、生徒のよい所を見つけて伸ばしていくことが大事であり、効果的な方法であると考えている。だが、否定的な回答も17~29%あり、一見するとよいと思われるが、「自信がない」など自己肯定感が低い評価も気になる。

(学校運営協議会委員のコメント)

- ・長所を伸ばしていく教育は大事なので、自信がない生徒も長所を見つけてほしいと想います。
- ・自信がないとされる子ども達が、自信を持てるようなことができるといいなと思う。
- ・自己肯定感の向上に寄与するためにも多くのチャレンジを後押ししたり、機会を与えるのは大人の役割と感じます。

【令和6年度に向けた取組】

重点目標（1）「自律」に関する改善点

- （2. に対して）夢や目標をもたせるキャリア教育の推進（つの未来学を核としたキャリア教育の充実）
- （3. に対して）計画的に学習やテストに取り組む生徒の育成（自己調整力を高めるタイムマネジメント手帳の導入）、個別の学習を支援するAIアプリの導入（スタディサプリによる個別最適学習）
- （4. 対して）保護者への理解を図る情報発信（HP、学校通信）

重点目標（2）「尊重」に関する改善点

- （1. に対して）相手の気持ちや人権を考える道德教育の充実（全員道德授業や人権学習の充実）
- （2. に対して）多様性について考える人権教育の充実と価値観の違いを学ぶ道德教育の充実
- （3. 対して）「いじめ」に対する認識を深める指導の充実、「してはいけないこと」だと考えていない生徒（3%）への指導
- （4. 対して）保護者への理解を図る情報発信（HP、学校通信）

重点目標（3）「体力」・「健康管理」・「防災」に関する改善点

- （1. に対して）体力向上に努めていないと感じている生徒（18%）への個別指導
- （2. に対して）感染症に対する予防意識の啓発と、場に応じてマスクを外す指導の推進。
- （3. に対して）防災への当事者意識が高まるような避難訓練や防災訓練の実施（ハザードマップの活用）

重点目標（4）「貢献」に関する改善点

- （1. に対して）将来の夢や職業について考えさせる職場体験学習やキャリア教育の推進
- （2. に対して）生徒主体の学校行事やキャリア教育、生徒会活動の推進（校則検討の継続）
- （3. に対して）持続可能なまちづくりを学ぶ学習機会の充実（職場体験学習、夏祭り等の行事、つの未来学の時間の充実）
- （4. に対して）「貢献」の認識を高めて、社会のために行動するような取組の推進（都農キャリア教育理論を柱としたキャリア教育の充実）

重点目標（5）「健康」「安全」に関する改善点

- （1. に対して）食育の充実などを通じた、生徒・保護者への啓発
- （2. に対して）生徒が通院できるような支援と保護者への啓発
- （3. に対して）タイムマネジメント手帳を活用した三者面談の実施
- （4. に対して）通学時の安全指導、関係機関との連携
- （5. に対して）家庭への啓発、デジタルシチズンシップ教育（P検定等）の推進

重点目標6「当事者意識」に関する改善点

- （1. に対して）主体的・対話的な教育活動の推進（全教育活動）
- （2. に対して）当事者意識をもち社会問題に取り組む「つの未来学」の充実
- （3. に対して）自己肯定感を高められるような指導の推進（人に親切にする日の設定）